

第3回五ヶ瀬町自治研推進委員会報告

開催日：2004年2月24日（水）

今回は、五ヶ瀬町が他町と合併した場合を想定して、合併した場合のメリットについて話しあってもらった。当日は10名の参加があり、会議方法は2名1組でブレインストーミング形式で5分程度話してもらい、メンバーを入れ替えて数名と話しをしてもらった。以下は、会議の結果であるが、単純に考えられるメリットを報告してもらったものである。自治労としての見解ではないことを予めお断りしておく。また、メリットとは言えないと批判を受けるものもあるかもしれないが、一住民として、一職員としてのものであることをご承知いただきたい。

合併のメリット

- 1 職員削減による財政効果
- 2 ごみ関係など、衛生組合の事務の効率化
- 3 人口の増加
- 4 JA,森林組合との連携
- 5 合併特例債の利用
- 6 公共施設の低料金化
- 7 保育所が選べる
- 8 特産品が増える（特産品が組み合わせて販売できるようになる）
- 9 滞在的な集客（滞在型の観光、観光ルート化）
- 10 利用できる公共施設の範囲が広がる
- 11 広域化による病院の見直し
- 12 事業見直しによる事務の効率化
- 13 特例交付金がもらえる
- 14 専門職員の登用が可能になる
- 15 ハード（施設等）の重複がさけられる
- 16 義務的経費が抑えられる
- 17 農産物のロットが確保しやすい
- 18 広域のネットワークが構築できる
- 19 税の負担減
- 20 建設業界が合併特例債によって潤う
- 21 学校の統廃合により教育の活性化が図れる
- 22 中心部が潤う
- 23 庁舎が整備されて綺麗になるかも？
- 24 広域消防により救急対応が充実する
- 25 無駄な在庫等がなくなる
- 26 学校区の見直しにより学校へのアクセスがよくなる
- 27 生涯学習の充実
- 28 議員、特別職の削減による財政効果
- 29 介護認定審査会等の事務の効率化

以上の項目が挙げられた。これを一つひとつ突き詰めていくと、公共料金が必ずしも下がらなかつたり、税負担が逆に増加したり等という可能性があるだろう。また、中心部が潤うということは、周辺地域が寂れるという裏返しでもあるということで、本当の意味でのメリットがどれだけ考えられるか、どれくらいに絞られるかという検討も今後必要になってくるだろう。さらには、どれくらいのメリットがあるのか調べるのも面白いだろう。